

報告書（社会貢献活動）

JBC CARES（JBC ケアズ） 佐賀大会

日時：令和8年3月20日（金・祝）

11:00 開会式

- ・パラ車いすボクシング、マスボクシング
- ・小学生・中学生スパーリング、マスターズスパーリング

場所：佐賀県杵島郡大町町大字大町2039

佐賀県立白石高等学校 商業科キャンパス体育館

JBC 試合役員：古田、岩崎、野田、姫野、棚町、河島、小池、光武（ドクター）

参加人数：84名

【詳細】

今回、元世界チャンピオンの具志堅用高氏をゲストとして佐賀県の中央に位置する人口約6300人の風光明媚な地域にある白石高等学校にお招きしての開催となった。事前にNHK佐賀放送の開催告知があり、入場無料とされていたことから300人ほどの多くの見学者が押し寄せ熱気を帯びた大会となった。JBC CARES (JBC ケアズ) としても、地域活性化の一翼を担えたことを嬉しく感じた。

白石高等学校の校長先生の歓迎のお言葉から始まり、具志堅用高氏がリングへ登壇し、同氏からも大会の意義や活動内容などをご説明いただいた際、観衆がそれに応えるように大きな拍手が沸いた。

大会は車イスボクシングの実演から始まり、具志堅氏も飛び入り参加で車イスに乗って実演している高校生とスパーリングで真剣にパンチを繰り出していた。「難しいけれどおもしろい」と何度も感想を述べられていた。今後の車イスパラボクシングの普及に大きな力を頂いたように感じた。

次に、スパーリング部門では84名がエントリーし、約半分がジュニアの参加であった。軽快なフットワークで観衆から驚きの声が上がっていた。また、マスターズでは最年長66歳で出場した選手が50代の選手に勝利する試合など、選手たちの研鑽や努力に感動を覚え、充実した内容の試合が多かった。試合後は各選手がお互いの健闘をたたえ爽やかな笑顔が印象的であった。

大会の実際の模様は、地元のテレビ局である佐賀テレビで放映され、内外から素晴らしい大会であったと称賛のお言葉をいただいた。本大会を開催した意義や成果が大きく次に繋がる大会であったと思う。

最後に、本大会に携わられたすべての関係者の皆様に御礼申し上げます。



